

令和 5 年度 岐阜県美術館 美術品等収集委員会 議事録

|                                                                                          |                                         |                          |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------|--|
| 日時                                                                                       | 令和 6 年 1 月 30 日(火) 午後 1 時 00 分～3 時 30 分 |                          |  |
| 場所                                                                                       | 岐阜県美術館スタジオ、展示室、ホール、講堂、特別応接室             |                          |  |
| 出席者<br>(委員)                                                                              | (順不同)                                   |                          |  |
|                                                                                          | 雪山行二                                    | 美術史家                     |  |
|                                                                                          | 村田眞宏                                    | 豊田市美術館 館長                |  |
|                                                                                          | 矢橋龍宜                                    | 矢橋ホールディングス株式会社 代表取締役社長   |  |
|                                                                                          | 田口義隆                                    | セイノーホールディングス株式会社 代表取締役社長 |  |
|                                                                                          | 高橋明也                                    | 東京都美術館 館長                |  |
|                                                                                          | 長屋光枝                                    | 国立新美術館 学芸課長              |  |
|                                                                                          | 花里麻理                                    | 茨城県陶芸美術館 学芸課長            |  |
| (事務局)                                                                                    | 日比野克彦                                   | 岐阜県美術館 館長                |  |
|                                                                                          | 小野正行                                    | 岐阜県美術館 副館長兼総務部長          |  |
|                                                                                          | 正村美里                                    | 岐阜県美術館 副館長兼学芸部長          |  |
|                                                                                          | 青山訓子                                    | 岐阜県美術館 学芸課長              |  |
|                                                                                          | 他                                       | 岐阜県美術館 学芸部職員             |  |
|                                                                                          | 竈橋智基                                    | 岐阜県環境生活部県民文化局長           |  |
|                                                                                          | 高井哲也                                    | 岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課長      |  |
| 議事内容および委員からの意見                                                                           |                                         |                          |  |
| ◆あらかじめスタジオ、特別応接室、展示室を回って収集作品を実見、質問に答える。のちにスタジオにて作品説明を行い意見をいただいた。                         |                                         |                          |  |
| 日比野館長 開始の挨拶                                                                              |                                         |                          |  |
| 正村副館長 委員、事務局員紹介／進行手順説明／作品説明                                                              |                                         |                          |  |
| <b>委員からの意見</b> (作品実見の最終意見)                                                               |                                         |                          |  |
| 【寄贈作品】29 点について                                                                           |                                         |                          |  |
| ・川合玉堂 2 点、菊池契月、佐々木尚文 (杉山半次郎コレクション)、長谷川喜久 日本画計 5 点                                        |                                         |                          |  |
| B 委員 杉山半次郎氏は玉堂の同級生ということ。既に同氏のコレクションを所蔵していることからさらに充実する。他それぞれ郷土ゆかりの作品だ。                    |                                         |                          |  |
| ・久保田勝巳 水彩画 2 点、奥村晃史 油彩画 1 点                                                              |                                         |                          |  |
| C 委員 評価額はどのように決定しているのか。― (事務局) 売買の履歴、他所蔵先とも照合しながら師の作品などと照らし合わせてつけている。                    |                                         |                          |  |
| F 委員 主題に社会性があり、その土地の歴史の大切な教訓を残す重要な作品。                                                    |                                         |                          |  |
| ・松山智一 アクリル画 1 点、山口歴 ミクストメディア作品 1 点                                                       |                                         |                          |  |
| D 委員 松山は非常に人気があり高額な作家。岐阜の出身とのこと、収集されるのは喜ばしい。                                             |                                         |                          |  |
| E 委員 松山、山口、共に今的であり美術の広がりを見せる。こうした新しい作品を収蔵していくことはチャレンジングであり、今後どのように位置づけていくか、面白い試みに繋がっていく。 |                                         |                          |  |
| A 委員 コレクションの収集方針の殻を破るような作品の収集を時々しなければ美術館の未来はない。美術も近年、アートという曖昧な言葉になっている。                  |                                         |                          |  |
| ・パブロ・ピカソ 版画 7 点                                                                          |                                         |                          |  |
| A 委員 素晴らしい作品。類例が日本にあまりない点も貴重。ピカソの多様さを示す作品群。                                              |                                         |                          |  |
| E 委員 刷りが美しい。作品としても力強い。使用されている紙の問題にまで調査を深めていて感銘を受けた。                                      |                                         |                          |  |
| ・山田光 陶彫刻 2 点                                                                             |                                         |                          |  |
| E 委員 その道では知られたコレクターであり、所蔵者との良い関係を築いていることが寄贈に繋がっている。                                      |                                         |                          |  |
| ・豊場惺也 陶芸 10 点                                                                            |                                         |                          |  |
| B 委員 美濃焼ならではの幅広い作域をカバーできている。団体に所属しない郷土の重要な作家を一つのまとまりとして収蔵するのはとてもよいこと。                    |                                         |                          |  |
| 【寄託作品】2 点について                                                                            |                                         |                          |  |
| A 委員 この日本画家の作品は何点あるのか。― (事務局) 20 点程度。このタイプの静物画はない。                                       |                                         |                          |  |

—なかなか良い絵だ。

D 委員 油彩画についてはどのような経緯による寄託なのか。—（事務局）画廊での個展に展示されたもの。将来の展覧会のために預かりたい。—了解した。

座長 以上の作品を今年度収集することとしてよろしいか。—（委員）異議なし。

館長 31 点について収集に問題なしとご意見をいただいた。お礼申し上げる。